

経過概要

第80回全国労働委員会連絡協議会総会（労働委員会制度創設80周年記念総会）は、令和7年11月13日（木）から14日（金）にかけて、東京大学大講堂（安田講堂）において、中労委及び都道府県労委の公労使各側委員、事務局長のほか、各事務局職員を含め、約500名の参加者により開催されました。

13日には、荒木尚志全国労働委員会連絡協議会会长（中労委会長）の開催挨拶の後、規約により荒木会長が議長となり、長坂康正厚生労働副大臣に御挨拶をいただきました。その後、副議長の指名が行われ、公益委員の副議長に石井浩委員（中労委）が、労働者委員の副議長に亀井美砂子委員（広島）が、使用者委員の副議長に飯野守委員（宮城）が、それぞれ指名されました。

続いて、小坪淳子運営委員長（中労委・公）から前回総会以降の運営委員会の審議経過についての説明が行われ、運営委員長報告が了承されました。また、田中仁志全国労働委員会連絡協議会事務局長（中労委事務局長）から、労働委員会の活動状況についての報告が行われました。



↑荒木会長による挨拶



↑長坂厚生労働副大臣による挨拶

その後、「労働委員会委員にとっての 0JT と Off-JT：職業能力開発の理想と現実」と題して、法政大学名誉教授の諏訪康雄氏（元中央労働委員会会長）による記念講演が行われました。



↑諏訪康雄氏による講演

14日には、第1議題として「働き方が変化する中での今後の労働委員会のあり方について」（中労委提案）のパネルディスカッションが行われました。

コーディネーター

山川 隆一 委員（中労委会長代理）

パネリスト

小畠 史子 委員（中労委公益委員）

小林 正啓 委員（大阪府労委會長）

佐々木 亮 弁護士（日本労働弁護団幹事長）

木下 潮音 弁護士（経営法曹会議常任理事）



↑第1議題（パネルディスカッション）の様子

午後からは、第2議題として「コロナ禍の教訓から学ぶ」（中労委提案）の経験の交流が行われました。

提案理由説明

鹿士 真由美 委員（中労委・公）

意見発表

山下 史生 委員（北海道・公）

岡元 茂樹 委員（神奈川・労）

中井 正郎 委員（大 阪・使）



↑第2議題の様子

議題審議終了後、次期運営委員の指名が行われ、荒木会長の閉会挨拶をもって総会は終了しました。

総会終了後、第1回運営委員会が開催され、運営委員長に小坪淳子委員（中労委・公）が、副運営委員長に新井博委員（群馬・公）がそれぞれ選出された後、令和8年の総会に関する事項等について、協議が行われました。